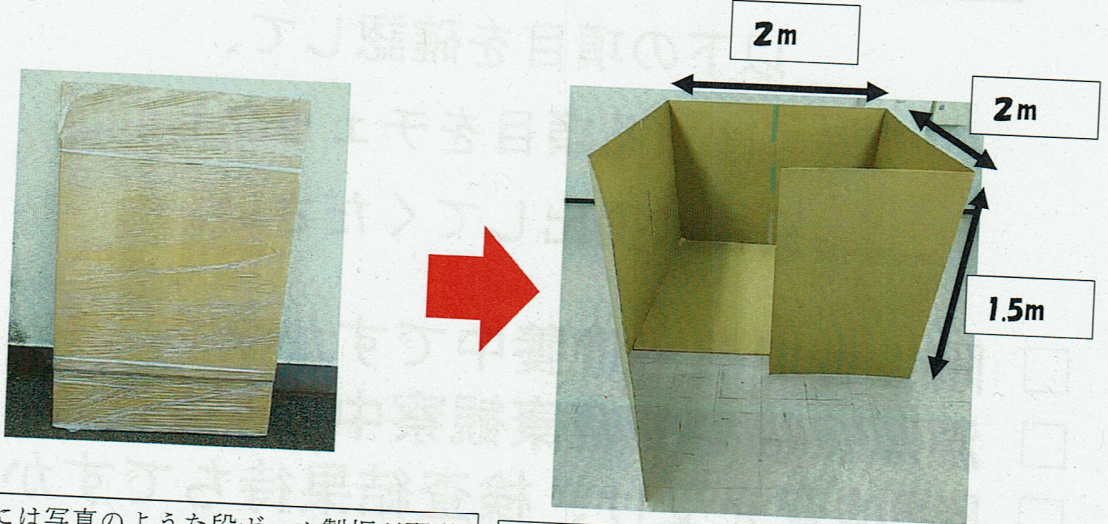


今年度、港北区役所では、避難者同士の飛沫感染を防ぐため、災害時に、区内企業が段ボール製の板等を各地域防災拠点へ配送する協定を締結しました。感染症対策として活用します。



発災時には写真のような段ボール製板が配送されます。これを用いて区画を作ります。

段ボール製の板を組み合わせ、2 m四方、高さ 1.5mの区画を整備します。





## 健康チェックリスト

以下の項目を確認して、  
当てはまる項目をチェックし、  
受付に提出してください。

- 陽性者で自宅療養中ですか？
- 濃厚接触者で健康観察中ですか？
- PCR検査を受け、検査結果待ちですか？

-----  
(咳・発熱等)

- 37.5℃以上の発熱がありますか？
- 息苦しさはありますか？
- 味や臭いを感じられない状態ですか？
- 咳がありますか？ ※喘息の方は除きます。
- 倦怠感がありますか？
- その他（頭痛、下痢、結膜炎等の症状）

上記で1つでも該当する方は、専用スペースへ

- 
- 上記に該当する症状等はありません



### イ 地域防災拠点の運営上注意すべき点

#### ① 手洗いや咳エチケットの徹底

感染を防ぐために、基本的な感染症対策である手洗いやマスクの着用などを徹底します。断水、石鹼やアルコール消毒液等がない場合は、その時にあるものでできるだけのことを行います。(例えば、飲料水で手を洗う、ウェットティッシュ等で拭くなど)



#### ② 定期的な清掃や換気

地域防災拠点内の衛生環境の確保として、定期的な清掃や換気の実施を徹底します。

- ・ 掃除は消毒剤(次亜塩素酸ナトリウム)による拭き掃除を基本とします。消毒剤を使用する際には使い捨て手袋を着用し、換気をします。
- ・ 人がよく触る場所(ドアノブ、テーブル、蛇口など)を1日にこまめに拭きます。
- ・ 便や尿にもウイルスが潜んでいるため、トイレは目に見える汚物があればその都度、また汚れが特に見えなくても1日3回(午前・午後・夕)以上の複数回を目安として、消毒剤を使用して掃除します。
- ・ 掃除後の手洗い、消毒も徹底します。
- ・ 換気は気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに(30分に1回以上数分間程度、窓を全開にする)、2方向の窓や扉を開け、避難スペース内に空気が通るようにします